

社会人基礎力測定指標と測定方法(案)

文責 宮平栄治

I 経済産業省社会人基礎力…12 要素

1. 前に踏み出す能力(アクション)

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

- 1-1 主体性…物事を進んで取り組む能力
- 1-2 働きかけ力…他人に働きかけ巻き込む力
- 1-3 実行力…目的を設定し確実に行動する力

2. 考え抜く力(シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力

- 2-1 課題発見力…現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 2-2 計画力…課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 2-3 創造力…新しい価値を生み出す力

3. チームで働く力(チームワーク)

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

- 3-1 発信力…自分の意見をわかりやすく伝える力
- 3-2 傾聴力…相手の意見を丁寧に聞く力
- 3-3 柔軟性…意見の違いや立場の違いを理解する力
- 3-4 情報把握力…自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力
- 3-5 規律性…社会のルールや約束を守る力
- 3-6 ストレスコントロール力…ストレスの発生源に対応する力

II 人生 100 年時代に求められる社会人基礎力…16 要素

1. 「学び(何を学ぶか)」

学び続けることを学ぶこと

自らの強みを強化し弱みを補完して能力を発揮するための力

→ 「考え抜く力」がより一層重要

- 1-1 自己分析経験
- 1-2 自分の強みを知っている。
- 1-3 自分の強みを他人から指摘された経験がある。
- 1-4 自分の強みを発揮した事がある。
- 1-5 自分の弱みを知っている。
- 1-6 自分の弱みを他人から指摘された事がある。
- 1-7 自分の弱みを克服した経験がある。

2. 「統合（どのように学ぶか）」

自らの視野を広げて、自己の多様な体験・経験や能力と多様な人々の得意なものを組み合わせ、目的の実現に向けて統合する。

自己の多様な体験・経験や能力と多様な人々の得意なものを持ち寄って価値を創出する。

→そのために「考え抜く力」や「チームで働く力」がより一層重要となる。

- 2-1 自分の体験をまとめたことがある。
- 2-2 自分の経験をまとめたことがある。
- 2-3 自分の体験と他人の体験を組み合わせることがある。
- 2-4 自分の経験と他人の経験を組み合わせることがある。
- 2-5 他人と協力して何かを行ったことがある。

3. 「目的（どう活躍するか）」

自己実現や社会貢献に向けて行動する。

価値の創出に向けた行動を促すための力である。

前に踏み出す力がより一層重要となる。

- 3-1 将来の夢がある。
- 3-2 将来の目的がある。
- 3-3 ボランティア活動を行ったことがある。
- 3-4 今よりも素晴らしい社会を想像したことがある。
- 3-5 働く場で活躍する自分の姿を想像したことがある。
- 3-6 他人からほめられたことがある。

4. 「スキル（どう向上するか）」

- 4-1 今よりも高い職階で働きたいと思ったことがある。
- 4-2 以下の職場を工夫すると全体の成果が向上する考えがある。
- 4-3 新商品を思いついたことがある。
- 4-4 新アイデアを出すための方法を知っている。
- 4-5 自分に不足しているスキルを知っている。
- 4-6 これからの社会に必要な知識を知っている。
- 4-7 新商品情報を集めている。
- 4-8 新技術に関心がある。
- 4-9 流行に敏感である。

「学び」、「統合」、「目的」の3つ視点のバランスを図り続けることにより 変化する社会の中における自らの立ち位置が常に相対化され、VUCA 時代を生き抜くための「キャリア・オーナーシップ」を個々人が見定めることにつながる。

Ⅲ ジョブ・エンゲージメント

1. 心理的安全性項目 その1

「この職場（チーム）なら何を言っても安全」という感覚を構成員が共有する。何かいいアイデアがひらめいたら、すぐに発言し、実行に移す。仮に新しい試みが失敗に終わっても、嘲笑されたり罰せられたりせず、引き続きチームの一員として尊重されると本人が確信する。

- 1-1 安心して話ができる人がいる。
- 1-2 安心して話ができるグループがある。
- 1-3 いいアイデアがひらめいたら話せるグループがある。
- 1-4 いいアイデアを実行できるグループがある。
- 1-5 アイデアの実行が失敗してもバカにされないグループがある。
- 1-6 アイデアの実行が失敗しても罰せられないグループがある
- 1-7 自分が尊重されている感じられるグループがある。

2. 心理的安全性項目 その2

グーグル管理職向けの心得集をまとめた。その中からいくつか紹介すると・・・
・部下と話すときは、知らぬ間に否定的な表情を浮かべていないか注意する。
・チームメンバーから学ぼうという姿勢で質問する。
・問題が起きて、相手を責めるような言い方はせず、どうすれば問題を解決できるかに焦点をあてる――

- 2-1 上司から励ましの声かけをされたことがある。
- 2-2 上司から否定的な表情をされたことがある。
- 2-3 問題が起きた時、上司から解決策を一緒に考えたことがある。
- 2-4 問題が起きた時、上司からせめられたことがある。
- 2-5 職場で励ましの声かけをされた経験がある。
- 2-6 職場で否定的な表情をされた経験がある。
- 2-7 問題が起きた時、職場で解決策を一緒に考えたことがある。
- 2-8 問題が起きた時、職場からせめられたことがある。
- 2-9 同僚などから励ましの声かけをされた経験がある。
- 2-10 同僚などに否定的な表情をされた経験がある。
- 2-11 問題が起きた時、同僚などから解決策を一緒に考えたことがある。

2-12 問題が起きた時、同僚などからせめられたことがある。

3. 成人教育(リカレント教育)の鍵・・・性格スキル=非認知能力

性格スキルとは、心理学や経済学で「非認知能力」と呼ばれてきたものである。心理学の世界では5つの因子(ビッグ・ファイブ)に分解できることがコンセンサス(合意)となっている。

それらが組み合わさって性格が形成されている。

1. 「開放性」(好奇心や審美眼)
2. 「真面目さ」(目標と規律を持って粘り強くやり抜く資質)
3. 「外向性」(社交性や積極性)
4. 「協調性」(思いやりや優しさ)
5. 「精神的安定性」(不安や衝動が少ない資質)

中でも、「真面目さ」が職業人生に大きな影響を与える。

- 3-1 今の仕事で無断欠席したことがない。
- 3-2 今の仕事で遅刻したことがない。
- 3-3 今の仕事で提出物は期限内に提出している。
- 3-4 スケジュール管理を行っている。
- 3-5 専門書の一冊を完読したことがある。
- 3-6 何かの企画を最後までやり遂げた経験がある。
- 3-7 趣味や稽古事を1年以上続けている。

<参考資料>

小塩真司編著(2021 北大路書房)『非認知能力ー概念・測定と教育の可能性』にみる非認知能力の15の概念

1. 誠実性・・・課題にしっかり取り組むパーソナル
2. グリッド・・・困難な目標への情熱と粘り強さ
3. 自己制御・自己コントロール・・・目標達成に向けて自分を律する力
4. 好奇心・・・新たな知識や経験を探求する原動力
5. 批判的思考・・・情報を適切に読み解き活用する思考力
6. 楽観性・・・将来をポジティブにみて柔軟に対処する能力
7. 時間的展望・・・過去・現在・未来を関連づけて捉えるスキル
8. 情動知能・・・情動を賢く活用する力¹

¹人は、日常生活でさまざまな感情を経験する。特定の出来事に起因する比較的強い環状反応を情動(emotion)と呼ぶ。情動は、時と場合に応じ、メリットとデメリットある。メリットは、喜びなどのポジティブな情動である。ポジティブな情動は、人の思考や行動の多様性をもたらす。また、ネガティブな情動もつらい時、悲しみを表出することで周囲の共感や感情を引き出すメリットがある。怒りも他の人に過ちを気づかせ、周囲の人の行動変容機能がある。一方、デメリットは、不適切な場面での笑顔が他者からの反感などである。情動と社会とが円滑に進めるためには情動に潜む法則性を見出し、法則性を活用する情動知能である。情動知能は、主観的幸福感、健康、学業成績、勤務成績、職務満足度などさ

9. 感情調整・・・感情をうまく対処する能力
 10. 共感性・・・他者の気持ちを共有し、理解する心理的特性
 11. 自尊感情・・・自分自身を価値ある存在と思う心
 12. セルフ・コンパッション・・・自分自身を受け入れて優しい気持ちに向ける力
 13. マインドフルネス・・・「今ここ」に注意を向けて受け入れる力
 14. レジリエンス・・・逆境をしなやかに生き延びる力
 15. エゴ・レジリエンス・・・日常生活のストレスを柔軟に対応する力
1. 誠実性・・・課題にしっかり取り組むパーソナル
成人のビッグ・ファイブを測定尺度は、国際的な尺度の他、複数の尺度が存在している²。

2. グリッド・・・困難な目標への情熱と粘り強さ

日本語版グリッド尺度³

1. 重要な試練に打ち勝つために、困難を乗り越えてきた。
2. 新しいアイデアや計画によって、それまで取り組んだことから注意がそれることがある。
3. 私の興味は年々変わる。
4. 困難があっても、私はやる気を失わない。
5. あるアイデアや計画に一時的に夢中になっても、あとで興味を失うことがある。
6. 私は頑張り屋だ。
7. 目標を決めても、後から変えてしまうことがよくある。
8. 数ヶ月以上かかるような計画に集中して取り組み続けることは難しい。
9. 始めたことは、どんなことでも最後までやりとげる。
10. 数年にわたる努力を要する目標を達成したことがある。
11. 数ヶ月事に新しい活動への興味がわいてくる。
12. 私は精魂傾けてものごとに取り組む

No.2,3,5,7,8,11 は「興味一貫性」項目・・・得点が高いほどグリッドが低い。→ぎやうてんか
No.1,4,6,9,10,12 は「努力の粘り強さ」項目・・・得点が高いほどグリッドが高い。

3. 自己制御・自己コントロール・・・目標達成に向けて自分を律する力⁴

1. 自己コントロール尺度>
学校・職場での遂行 ウィルビーイング・適応 対人関係 食行動・体重管理
2. バラッド衝動性尺度>
喫煙・飲酒 逸脱行為 計画・意思決定
3. 低自己統制尺度>
喫煙・飲酒 逸脱行為

4. 好奇心・・・新たな知識や経験を探求する原動力⁵

さまざまな種類の心理的・身体的・社会的な適応の高さと結びつく。 出典：小塩真司編著 (2021 北大路書房)『非認知能力ー概念・測定と教育の可能性』 pp.133-4 より。

² 出典 小塩真司編著『前掲著』 p.12

³ 出典 小塩真司編著『前掲著』 p.33

⁴ 出典 小塩真司編著『前掲著』 p.52

⁵ 出典 小塩真司編著『前掲著』 p.72

1. 知的好奇心・・・問題や課題などの知的情報領域における好奇心探索
2. 知覚的好奇心・・・音・光・触覚などの感覚・知覚情報領域における好奇心探索
3. 対人的好奇心・社会的好奇心・・・人の心理や秘密などの対人情報領域における好奇心探索

5. 批判的思考・・・情報を適切に読み解き活用する思考力
 批判的思考とは、「日々、新しい問題が生まれ、不確実なことも多い複雑な社会でよりよく生き抜くために必要」な思考である⁶。

三部分構造モデルによる批判的思・・・システム1の処理(直感的思考→自動的精神) システム2の処理(批判的思考→内省的精神 批判的思考→アルゴリズム的精神)⁷

6. 楽観性・・・将来をポジティブにみて柔軟に対処する能力⁸
 1. これから先、自分には良いことが起こると思う。
 2. 将来、幸せになれると思う。
 3. 何かする時は、うまく行くだらうと考える。
 4. 自分の将来を楽しみにしている。
 5. 大きくなったら、楽しいことや良いことがたくさんあると思う。

7. 時間的展望・・・過去・現在・未来を関連づけて捉えるスキル
 時間的展望とは「フランクは、」過去の経験が出来事の連続性が認識や期待をもたらすと同時に、未来が現在を決定し、現在が過去をコントロールするといった、過去・現在・未来の力学的な相互作用」である⁹。

時間的態度尺度¹⁰

下位尺度	項目例
過去肯定	自分の過去は幸せに思っています。
	私の過去には楽しい思い出がいっぱいです。
過去否定	私にとって、過去の人生は忘れたいものです。
	自分が昔のことを振り返ると悲しくなります。
現在肯定	今の生活に満足しています。
	全体的に、私が今取り組んでいることに幸せを感じます。
現在否定	自分の今の状況についてよく思っていません。
	私は、今の生活に悩んでいます。
未来肯定	自分の将来が楽しみです。
	私は、自分の将来のことを考えるとワクワクします。
未来否定	私は将来、成功するとは思えません。

⁶ 引用 小塩真司編著『前掲著』 p.83

⁷ 出典 小塩真司編著『前掲著』 p.86

⁸ 引用 小塩真司編著『前掲著』 p.105 の脚注

⁹ 引用 小塩真司編著『前掲著』 p.115

¹⁰ 引用 小塩真司編著『前掲著』 p.121

私は、自分の将来について考えたくありません。

8. 情動知能・・・情動を賢く活用する力¹¹
 1. 情動の知覚・・・自他の情動を固定し、性格に表現する能力
 2. 情動の利用による思考の促進・・・判断や記憶の助けとなるような情動を生み出す能力
 3. 情動の理解・・・情動のもつ特性や、情動と状況との結びつき、混合情動などの複雑な情動を理解する能力
 4. 情動の管理・・・望ましい結果に向けて、自他の情動を効果的に調整する能力
9. 感情調整・・・感情をうまく対処する能力
10. 共感性・・・他者の気持ちを共有し、理解する心理的特性
11. 自尊感情・・・自分自身を価値ある存在と思う心
12. セルフ・コンパッション・・・自分自身を受け入れて優しい気持ちに向ける力
13. マインドフルネス・・・「今ここ」に注意を向けて受け入れる力
14. レジリエンス・・・逆境をしなやかに生き延びる力
15. エゴ・レジリエンス・・・日常生活のストレスを柔軟に対応する力

¹¹ 引用 小塩真司編著『前掲著』 pp.135-136